

テーマ：ベーシックインカム

Basic income、基礎所得保障、全ての個人に例外なく、無条件に定期的に支給する  
月5～8万円

1. なぜベーシックインカムなのか？

- ・産業のオートメーション化
- ・経済のグローバル化の拡大→海外からの安い労働力と商品の流入

シンギュラリティ（人工知能が人間知能を超える瞬間）が2045年に到来？  
→大半の現代人は**潜在的失業者**→需要を増やす必要がある



「シンギュラリティ」提唱者  
レイ・カーツワイル

2. ベーシックインカム…お金の流れを変えること

補助金

- ・供給サイド（業界団体）から需要サイド（住民）へ
- ・法人から個人へ。会社を助けるのではなく個人を助ける。



トマス・ペイン

3. ベーシックインカムを主張した人物

トマス・ペイン…アメリカ独立戦争を主導

名著『コモンセンス』、『人間の権利』（すべての国民に土地を与える）

キング牧師…公民権運動

I have a dream、公民権運動の一環としてのベーシックインカム



キング牧師

4. ベーシックインカム≠福祉・社会保障

強者から弱者への分配、一律無条件のベーシックインカムとは原理が異なる

ベーシックインカムの財源を補うために、福祉や社会保障をカットすべきではない

生活保護との違い：生活保護は働くと支給額が減るが、ベーシックインカムは働いても支給額が減らない

5. ベーシックインカム≠共産主義

共産主義国

- ・労働しなければ生活が保証されない
- ・「働かざるもの食うべからず」レーニンの言葉・・・金利生活者を批判、労働価値説

ベーシックインカム

- ・労働しなくても必要最低限度の生活が保証される
- ・「ベーシックインカムがあると誰も働かなくなる」という批判は不適切

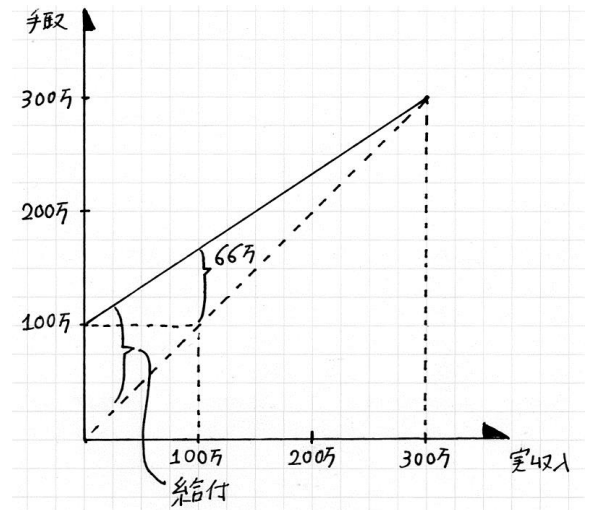
6. ベーシックインカムの類似政策

①子ども手当

- ・無条件・継続的支給は共通、日本だけでなく、欧州に実施例多数
- ・フランス・イギリス・スウェーデン・ドイツ・デンマーク・オランダなどで実施
- ・所得制限がない、無条件の支給、16歳（18歳）未満

## ②給付付き税額控除

- ・ 給与所得が低くて控除を受けられない人に控除分を給付する
- ・ 日本でも実施が確実視？
- ・ 実施例：
  - 米・英・独・仏・オランダ・スウェーデン・
  - カナダ・ニュージーランド・韓国



## 7. ベーシックインカムの財源論

### 100兆円の財源/年

一人あたり月 8万円×12ヵ月×1億2千万人

- ① 所得税案 (45%) : 控除を全廃(国民所得は 260兆円)、基礎年金・生活保護を移転
- ② 消費税案 (50%) : 5%で10兆円→50%で100兆円
- ③ トービン税案 : 為替取引に都度 0.1%程度をかける、前仏大統領サルコジが提唱していた
- ④ 政府通貨の導入、通貨のあり方の再定義

## 8. ベーシックインカムの実例

### ①米国アラスカ州

アラスカ永久基金 (資源を輸出した利益)、年額\$1000~2000

### ② モンゴル

人間開発基金 (資源を輸出した利益)、年額 50万トゥグルク (現物支給含)、1円 16.5 トゥグルク→約 3万円

### ③ イラン

補助金改革 (石油関連品補助金を現金化)・・・年額\$480

### ④ カナダマニトバ州ドーフィンの実験 (1974~78年)

年額\$1200、貧困ライン年\$2100、結構うまく行ったらしい。

仕事をやめたのは、学業に励みたい 10代の労働者とゆっくり子育てに励みたい母親だけ

### ⑤ ブラジル : ボルサファミリア (家族手当)、ベーシックインカムを法制化(2004年)

貧困率が低下してブラジルの好景気を支える原動力! ?

### ⑥ スイス : 国民投票の実施予定

## 9. ベーシックインカム実現のヒント

### エネルギー : 資源の売却益を国民に配当する

アラスカ永久基金 (アメリカアラスカ州)、人間開発基金 (モンゴル)

再生可能エネルギーの売却益??

### 通貨体制の再定義

- ・ ノースダコタ銀行 (アメリカノースダコタ州) : 融資の利益は、ノースダコタ州の財政へ→黒字財政
- ・ アイスランド : 銀行の国有化、国債の免除、住宅ローンの免除→徳政令→景気回復
- ・ 政府通貨の発行 (政府が中央銀行にお金を刷らせた)

日本 : 日銀国債直接引受 (高橋是清)、ドイツ : 労働財務証書 (シャハト)

### ・ 量的緩和マネーを人びとへ?

量的緩和マネー→市中銀行保有の国債→市中銀行に日本銀行券がたまっている